

科目名 SS 研究Ⅲ

理数科必修
3年次・1単位

目標 「課題研究」の成果について英語でプレゼンテーションを行い、科学的な英語コミュニケーションのトレーニングを行うことにより、英語で思考し議論する力を育成する。

位置づけ 2年次で行った『課題研究』を英訳し、英語でプレゼンテーションを行う。研究内容に対して、日本語だけでなく英語を用いて質疑応答や議論を行う。

■使用する教材

・自作プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

・課題研究英語プレゼンテーション作成【4～11月】

・課題研究英語発表会【6月】

・外部講師による英語コミュニケーション講座【6月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

課題研究を英訳し、ポスターおよびプレゼンテーションを作成する。英語による質疑応答や即興プレゼンテーションのトレーニングを行い、ポスターセッションや口頭発表で実践する。英訳作業等は家庭学習で行い、授業時間の中で対話のトレーニングや発表の準備を行う。

■観点別評価について

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|---|---|
| 評価基準 | A 正しい現状把握から課題見だし、解決のための仮説を立て、根拠を示して適切に検証し、結果を多面的・客観的に分析・解釈して結論を導くことができる。 | 結論から得られたことを活用し、新たな課題を見いだすことができる。また研究成果を文章や図表を用いるなど適切な工夫をして説明し、論理的に議論することができる。 | 研究計画を立て、内外の様々な人と連携しながら適切に運営し、自らが果たすべき役割を見出し貢献することができる。異文化や多様性を理解しようと相互理解に努め、マナー・モラルを守り目標達成に向けて粘り強く挑戦することができる。 |
| | B 課題見だし、解決のための仮説を立て、適切に検証し、結果を分析・解釈して結論を導くことができる。 | 結論から得られたことを活用することができる。また研究成果を説明し、議論することができる。 | 研究計画を立て適切に運営し、貢献することができる。異文化や多様性を理解しようとし、マナー・モラルを守り目標達成に向けて挑戦することができる。 |
| | C 上記が達成できていない | 上記が達成できていない | 上記が達成できていない |
| 評価の場面 | 活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物 | 研究内容・発表・論文やポスター等の成果物 | 活動状況・研究内容・発表・論文やポスター等の成果物・外部発表等の実績 |